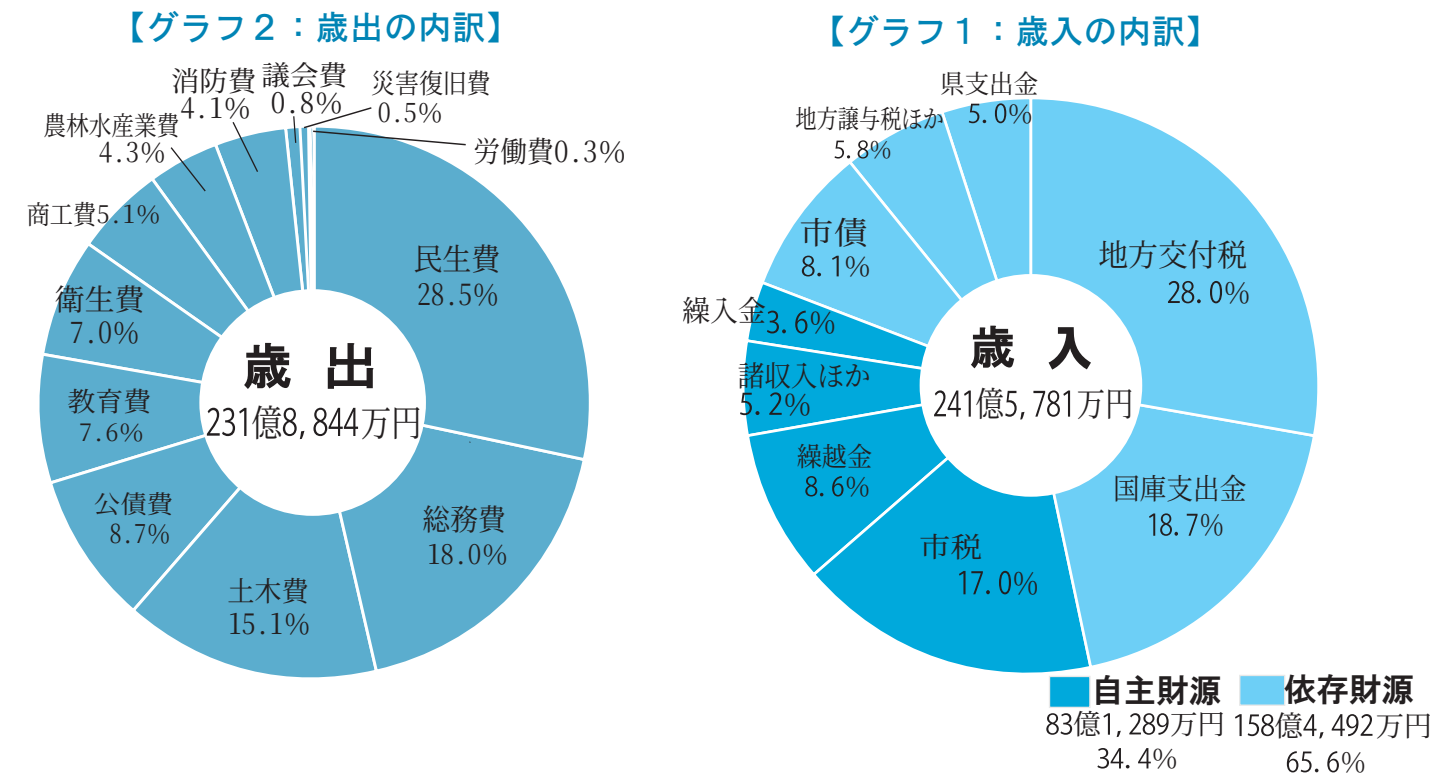




平成23年度は、東日本大震災の影響で大幅に税収が落ち込みましたが、その後は復興需要に支えられ、個人市民税や法人市民税が堅調に推移するとともに固定資産税も回復傾向で推移し、平成28年度には市税全体で約44億円に達しました。

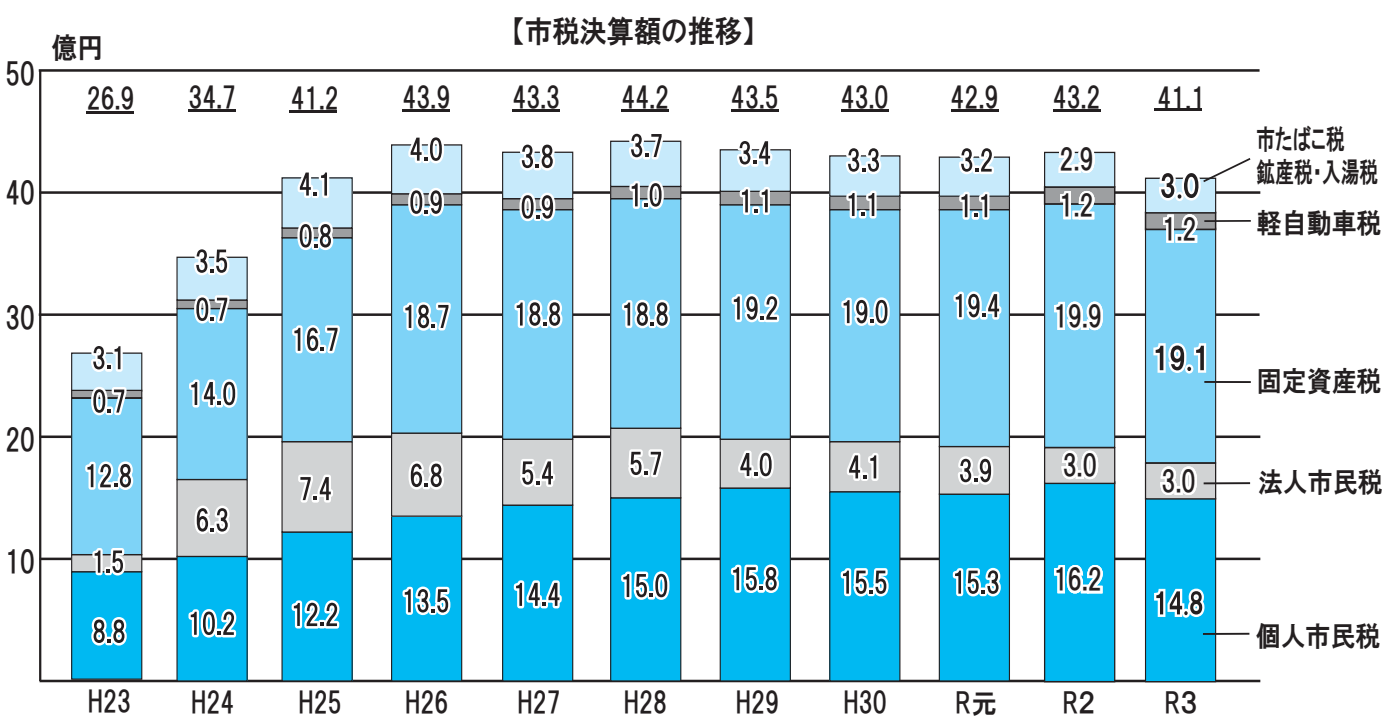
令和3年度は、前年度に比べ4・7%減少しましたが、引き続き震災前を上回る水準を維持しています。

市税決算額の推移について

令和3年度の一般会計の歳入241億5,781万円のうち、市税が41億1,473万円となっており、歳入の17・0%を占めています。

令和3年度の市税の決算額のうち、個人市民税が約14・8億円、法人市民税が約3・0億円、固定資産税が約18・7億円、この3税目で市税全体のおよそ90%を占めています。

一般会計における市税の収入について



(3) 広報大船渡 令和4年10月5日号(No. 1232)

▷ 問い合わせ＝市役所 ☎0192⑦3111



一般会計

令和4年大船渡市議会第3回定例会において、令和3年度の一般会計と特別会計の決算が認定されました。令和3年度は、市総合計画前期基本計画の初年度として、将来都市像「ともに創る やすらぎに包まれ 活気あふれる 三陸のにぎわい拠点 大船渡」の実現に向けて、市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を積極的に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策事業にも注力しながら、持続可能なまちづくりに取り組みました。

一般会計と特別会計を合わせた歳出決算額は、前年度と比較して14・8%の減額となっており、復旧・復興事業の減少が表れた決算額となりました。

一般会計歳入は241億5,781万円、歳出は231億8,844万円で、9億6,937万円の黒字となりました。

歳入

歳入の内訳は、【グラフ1】のとおりで、地方交付税が最も多く、次いで国庫支出金、市税の順となっています。今年度の主な収入の内容と金額は、次のとおりです。

- ・国庫支出金Ⅱ新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4億4,589万円など
- ・県支出金Ⅱ地域水産物供給基盤整備事業費補助金3,750万円など
- ・地方交付税Ⅱ震災復興特別交付税5億5,897万円など
- ・市税Ⅱ固定資産税19億1,222万円など

歳出

歳出の内訳は、【グラフ2】のとおりで、民生費の割合が最も多く、次いで総務費、土木費の順となっています。今年度の主な支出の内容と金額は、次のとおりです。

- ・総務費Ⅱ地方創生推進事業1億4,809万円、電子自治体推進事業1億1,392万円、ふるさと納税事業1億928万円など
- ・民生費Ⅱ自立支援給付事業10億635万円、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業4億2,248万円など
- ・農林水産業費Ⅱ水産物供給基盤整備事業7,500万円、新たな森林経営管理事業7,241万円など
- ・復旧・復興事業分19億5,335万円 8.4%
- ・商工費Ⅱ新型コロナウイルス感染症対策事業者緊急支援事業3億8,798万円、宿泊観光回復事業5,183万円など
- ・土木費Ⅱ中赤崎地区道路新設・改良事業5億3,792万円、通学路整備事業2億3,254万円など
- ・消防費Ⅱ消防施設整備事業(消防屯所)3,002万円など
- ・教育費Ⅱ第一中学校校舎等改築事業1億8,728万円など

一般会計の復旧・復興事業の決算状況

一般会計歳出総額 231億8,844万円
通常分 212億3,509万円 91.6%
特別分 19億5,335万円 8.4%

※用語などの詳細は、市ホームページをご覧ください。